

知り合う

困難に直面しているとき、あなたはどのように祈りますか？

聖句

第二 コリント11:30
「誇る必要があるなら、私の弱さを誇りましょう。」 聖書協会共同訳

第二 コリント12:1-10

1 私は誇らずにいられません。誇っても無益ですが、主の幻と啓示とについて語りましょう。2 私は、キリストにある一人の人を知っています。その人は十四年前、第三の天にまで引き上げられたのです。体のままか、体の外に出てかは知りません。神がご存じです。3 私はそのような人を知っています。体のままか、体を離れてかは知りません。神がご存じです。4 その人は楽園にまで引き上げられ、人が口にするのを許されない、言い表しえない言葉を聞いたのです。5 このような人のことを私は誇りましょう。しかし、私自身については、弱さ以外は誇るつもりはありません。6 もっとも、私が誇る気になったとしても、真実を語るのだから、愚か者にはならないでしょう。しかし、誇るのはやめましょう。私について見たり、聞いたりする以上に、私を買いかぶる人がいるかもしれないからです。7 また、あまりに多くの啓示を受けたため、それで思い上がることのないようにと、私の体に一つの棘が与えられました。それは、思い上がらないように、私を打つために、サタンから送られた使いです。8 この使いについて、離れ去らせてくださるように、私は三度主に願いました。9 ところが主は、「私の恵みはあなたに十分である。力は弱さの中で完全に現れるのだ」と言われました。だから、キリストの力が私に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。10 それゆえ、私は、弱さ、侮辱、困窮、迫害、行き詰まりの中にあっても、キリストのために喜んでいます。なぜなら、私は、弱いときにこそ強いからです。(聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会 Japan Bible Society, Tokyo 2018)

学びとシェア

１．人生で経験した神様の恵みを思い出しましょう。神様はどのようにあなたに良くしてくださいましたか。クリスチャンなら、ありとあらゆる霊的な祝福を、キリストにおいて経験してきたでしょう。神様の善性は、あなたを謙虚にしていますか。それともむしろプライドが芽を出して、生え茂っていますか。もっとキリストのことを考えていますか。それとも自分のことに集中していますか。

２．神様はあなたの身体に棘を与えられましたか。物理的な痛みを伴う病状、苦しい人間関係、あるいは経済的困難でしょうか。神様があなたに棘を与えられたのは、あなたをプライドから守るためでしょうか。もし、そうなら・・・

３．あなたは恵みの座の上に留まっていますか。慈悲と、時宜に適った助けを求めて、恵みの座の元で生きていますか。休むことなく、祈っていますか。
（ヘブライ人への手紙4:16）

４．希望をより確かにしてくれる約束に集中して深くじっくり考えていますか。私たちの苦しみは、キリストの苦しみの内に私たちをキリストの元に導くはずです。あなたの希望を確固たるものにしてくれる約束は何でしょう。（ローマ８章、第二コリントの信徒への手紙４:16-18、第一 ペトロの手紙 1:13 参照。よりキリストに依存するために、しっかり掴んでいられる希望に集中して深くじっくり考えましょう。）

５．自問してください。「この試練は、どのように私をイエス様に近づけられるだろうか。神様は、どんなキリストの性質を私の内に育てようとしているのだろう。神様は、この困難を通して、私がもっと人の気持ちが分かるように、もっと謙虚に、もっと喜びに満ち、もっと感謝に満ちた人になるようにしてくださっているのだろうか。神様は、私を我慢強くしようとしているのか。それならば、この終わりの見えない困難は、どのように私をイエス様に近づけるのか。神様は、どんなキリストの性質を私の内に育てようとしているのか。」

６．最後に、苦しみの最中にあって、同じように苦しんでいる他の人たちをどのように愛し励ませるだろうか、と考えてみてください。

成長

お互いのために祈りましょう。また、私たちが神に身をゆだねることができるように祈りましょう。